

## 第7回 加賀温泉駅施設整備検討委員会 議事録

### ■会議概要

- ・ 日 時：2018年5月24日（木）10:00～
- ・ 場 所：市民会館3階 第13会議室
- ・ 出席者：（委員）

出欠	所属・職	役職	氏名
出	金沢工業大学教授	委員長	水野 一郎
欠	金沢大学教授	副委員長	高山 純一
出	加賀市商工会議所都市政策委員長	委員	竹内 和良
出	山中温泉観光協会会長	委員	上口 昌徳
欠	山代温泉観光協会会長	委員	萬谷 正幸
出	片山津温泉観光協会会長	委員	鹿野 祐司
出	加賀商工会議所女性会顧問	委員	丸谷 朱美
出	加賀市美術作家協会理事長 画家	委員	長谷川 清
出	古場田デザインスタジオ プロダクトデザイナー	委員	古場田 良郎
出	加賀まれびと交流協議会	委員	師池 敬子
出	かが緑化研究会会長	委員	田畑 智日
出	山代温泉旅館協同組合理事長	委員	新滝 英樹
出	加賀まれびと交流協議会副会長	委員	小中出 佳津良
出	石川県都市計画課長	委員	鈴木 裕司 (代理 高田 隆司)
出	金沢工業大学教授	アドバイザー	蜂谷 俊雄

（事務局）加賀市 眞田部長、高本課長  
 新幹線対策室 中野室長、屋後参事、寺山係長、野崎、山本  
 株式会社日本海コンサルタント 小坂、馬場

## ■意見概要

### (1) 駅前広場レイアウト修正結果について

- ・一般車駐車場と市道を完全分離する件は、現状はバスの駐車場だからいいが、計画のように一般車駐車場になるのであれば、松が丘方面からここを利用しようとする人は大変使いにくい。一回大通りに出て信号を渡って入ってくる必要がある。可能であれば、一旦停止してでも西側から一般車駐車場に入れるようにしていただけるとありがたい。
- ・タイムズ駐車場から美術館に向けた既存横断歩道について、現状では利用する歩行者が結構いるので、可能であれば残してほしい。
- ・上記2点について、安全性や交通計画を踏まえて、庁内で検討する。
- ・長時間駐車場は、市営駐車場という形で、運営を民間に委託する。大雪時に閉鎖にならないように管理協定を結びたい。

### (2) 駅舎および環境空間のデザインについて（前回委員会の再確認）

- ・駅舎デザインは、A案と基本として、BC案と同様に、正面性のずれを解消するように100m規模で格子範囲を広げて欲しい、壁面ベース色の範囲を広げて欲しいと、JRに要望を続けている。
- ・環境空間デザインは、切妻屋根とすることについて了承。今後、詳細はプロポーザルで検討していくこととなる。

### (3) 都市施設について

- ・コインロッカーはJRが整備する予定であり、外国人客を考慮して大型ロッカーをJRに要望する。また、観光案内所で預かれるような体制を整える方向で調整している。
- ・インフォメーションは仮駅舎となってから良くなった。通路に面してインフォメーションがあるから、なんでも聞けるお客さんが増えている。高架下整備にあたっては、荷物をもって降りてきた人がすぐ聞ける場所に設けたほうがよい。観光案内所はよろず相談であり、最重要施設であるので、一番目立つところに配置するとよい。また、明確な看板が必要である。
- ・現段階では、CANBUSは高架下の中には事務所を設ける予定はなく、駅前広場の空白部分で考えているとのことであるが、この駅が使いやすくなるポイントは2次交通との関係だと思う。
- ・今後、詳細はプロポーザルで検討していくこととなる。

### (4) 駅舎内装について

- ・鉄道運輸機構への中間報告、プロポーザルに向けては、「手業の感じられる和のデザイン」という方針で進める。
- ・室内外の一体感は重要であり、外観コンセプトの温泉風情と城下町の歴史を感じさせる、そういうものを取り入れた内装にするとよい。
- ・関連して、アビオの内外装の改修にあたって、駅前整備との景観整合を図ったものにする方向で、平和堂と市が調整していく。
- ・今後、詳細はプロポーザルで検討していくこととなる。

## ■会議詳細

### 1. 眞田部長挨拶

3月1日に大阪の鉄道運輸機構へ市長と共に運輸へ推薦案のA案の回答をしてきた。

その後、4月から都市再生整備計画を策定している。何十億という整備費が必要であるため国費を申請する必要があり、今年度中に計画策定して、来年度から5年間にかけて国費で順次整備を進める予定である。

ハード的な方では、仮駅舎の正面に100㎡の膜構造の屋根をつけた。それに合わせて、ホーム・改札から出ると正面の出入口が壁だったのをガラスにした。これによってテントやその向こうの人溜まりが見えるようになった。

観光の方でやっていることは、東京2023加賀プロジェクトの動画(4シリーズ、約6分)PVであり、フジテレビの全国ご当地PR動画グランプリ石川県公報コンクール映像部門で最優秀賞、北陸コピーライターズクラブグランプリを受賞した。第2弾を作成するために動いている。

### 2. 水野委員長挨拶

これまで何度も検討を重ね、JRとも色々な交渉を重ね、大筋が固まってきている。

これからは比較的具体的に決めていく作業になる。その作業を進めていき、竣工まで見守る、意見を出し合い、いいものへと進めていきたい。

### 3. 事務局より資料説明

### 4. 意見交換

- ・水野) それではご質問、ご意見等をお伺いしたい。先ほど3つのことで今日決めてほしいという話がありました。これまでの検討経緯1ページから5ページまでで何かご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

私の方から1つ確認をしたい。まず4ページ、見ていただくとわかるが、みなさんとこの委員会と市民集会所とで、A案を選定いたしました。A案は約50mの範囲が中心施設だが、B案C案は100mくらいの範囲が設定されており、A案だけが50mなのがよく分からない。A案も100mにしてほしいという要望を出した。B案C案は他の部分もこげ茶でできているがA案は白い。これも直してほしいと要望中である。特別に大きくしたわけではなく、B案C案と対等にしてほしいという要望でした。変更したものが模型にあるそうなので見て欲しい(模型にて説明)。何が起こるかと言うと、正面に対して、元のものだと開けた部分が全然正面性がない。ここだけが正面だということになってしまうので、こげ茶にすると、対等に広がってゆくということがあるのでこれにしてほしいという要望に決まったと思います。これに対する回答はまだないが、要望はしている。それと、他の駅はほとんど真っ白だが、この駅はこの色でずっといってはどうかと言うことを決めている。小松もあわらの方も福井の方も3案だったら、それぞれ選んで決めているが、加賀温泉駅では少し違ったものが選ばれたのではないかと思います。

環境空間については、切妻屋根型としている。設計者選定のところでプロポーザルが行われる時に前提として、バックはこういうことになるだろう、正確なものはまだ示されていないが。環境空間については、これをどうするか、これを今日決めなければいけないと思っています。この委員会で決めた切妻案とするか、それも外して自由でいいとするかを含めてご検討願いたい。一応ここで決まったので、原則的には切妻案であろうかと思うが、一応確認をしたい。特に5ページまでで何ございましたら、お願いします。今の2つのことが中心です。この委員会で決めてきたことの確認です。よろしいですか？

→全員) 異議なし。

→水野) それでは6ページ以降の今後の検討事項について、7ページの交通のラウンドアバウトの変更ですが、これについてはいかがでしょうか。これは前の検討委員会で決めたものは3ページのもの。それが7ページのように変更になった。赤い丸のところ。2箇所の変更です。

・竹内) 7ページの一般車駐車場と市道を完全分離する件は、現状はバスの駐車場だからいいけど、計画のように一般車駐車場であれば、松が丘方面からここを利用しようとする人は大変使いにくい。一回大通りに出て信号を渡って入ってくる必要がある。以前の案だといろいろな混雑、危険性があってこうなったと思うが、可能であれば、一旦停止してでも西側から一般車駐車場に入れるようにしていただけるとありがたい。

→中野) この案に変更させていただいたのは、道路の管理をしている土木課の意見というので、市道ということもあり、安全が第一ということでこの形に変更している。おっしゃる通り、松が丘方面の方にとっては、こちらからの乗り入れができないと、遠回りしなくてはならないので、その辺については一度検討させていただきたい。

→田畑) 私も竹内さんの案に賛成する。なぜなら、もし今年のような大雪が降った場合を考えると、抜け道はあったほうがいいと思う。利便性も増すのであれば、常時は車止めしておいて、臨時には抜けられることも少し考えておいた方が、柔軟に対応していけるのではないかな。

→水野) 抜けられるというのはどういうことか。

→田畑) 今年のような大雪が降って通路がふさがれて、駅前広場内で車が立ち往生した場合に、中の車は一切出られなくなってしまうので、もうひとつ応急にでも開放できる場所があれば渋滞を解消できると思う。新幹線は雪でも動く。

→中野) ご意見を踏まえ、検討して委員会でも提示させていただく。

→水野) 市役所内の専門部局で検討するということでよろしいですか。

→竹内・田畑) はい。

・新滝) 広場の変更点ではなくて確認ですが、今タイムズさんの駐車場になっている駅前の手前の駐車場は、完成してからもまた民間委託するのか？それとも市の駐車場として自由に停められる形になるのか？

→中野) ここは有料になる。駐車場はどこも有料になる。ここについては、市で直接運営するのではなく、民間業者に委託といった形で有料駐車場を想定しています。駅直近部駐車場と現在のタイムズ駐車場の違いは何かというと、30分～1時間程度の短時間目的の駐車場と、旅行に行くときに停めるような長時間の駐車場ということで、想定している。

→新滝) 今回新幹線駅舎になるということもあって是非お願いなのですが、今の加賀温泉駅のタイムズさんの駐車場は、ちょっと雪が降ると歩道に雪が積もってすぐに閉鎖にしてしまう。当然マイカーで来た方は駐車することを前提に来ているから、閉鎖となると、行き場を失って、多分平和堂さんに停めたり、近くに停めたりとなって大変なことになる。今回整備するにあたって、間口の問題、除雪の問題を民間に委託するのであれば、市民にとって駅前駐車スペースというのは駅を利用するうえで死活問題である。出口が後ろ側なのは流れ上いいのか。今のタイムズさんより相当大きくなるがそこも含め動線計画も検討してほしい。雪が歩道に積もったくらいで閉鎖にならないような対策をしてほしい。

また、今の横断歩道を利用する歩行者が結構いるが、無くしても大丈夫なのか。無理に渡ろうとする人がでてきたら危ないと思う。

タクシーの箇所はラウンドアバウトではなくて交差点にするのは良いと思うが、タクシーの動線が鋭角に曲がるように見えるが、流れるにもどうなのか。タクシーはそんなに混まない？タクシーの関係者がいないから分からないが、どうか？

→中野) すみません、説明不足だったので。まず駐車場については、現在タイムズさんにこの土地を貸している。市の駐車場というより、市の土地を単に貸しているだけの駐車場である。将来できる駐車場は、まずは市営駐車場という形で、運営を民間に委託する。大雪の場合は閉鎖にならないように管理協定を結びたい。横断歩道は、確かに現在も横断がかなりありますので、検討したい。

→新滝) 安全も含め、要るのか要らないのかわからない。

→中野) この交差点付近に歩道が安全であるかも含め再度検討したい。タクシーの駐車場への乗り入れについては、一般駐車場を経由する計画であり、出車にあたっては問題ない。

→新滝) ここで確認することではないが、前回は旅館の関係者からせつかく綺麗な駅が整備されるなかで、今の仮駅舎もバス送迎のお客様をお出迎えするためにテントを設置してもらったが、ハードと共に運営というものも一緒に考えておかないと、またハードを触らないといけなくなり大変。どこかの機会で、どこで待機するかということ事前に決めておいた方がスムーズ。中や待合に入って、ということは難しいと思う。なんとなく適当に、というのは始まってからまた大変なことになる。どこかで一度確認の場を作っていたらいい、オペレーション上もうまく流れるかどうかの検証もしていただきたい。

→竹内) ラウンドアバウトの下あたりに美術館へのアプローチを考えたほうがいい。右回りでアビオ前の屋根の下を歩いて来ると、右も左も歩いて来れるような。美術館もいろんなイベントをしている。

→長谷川) どんなに狭くても横断歩道はつくっていただけるとありがたい。結構こっちまわりのお客さんが多いから、横断歩道がないと大変、すごく混雑する。駅からで来たお客さんがアビオの方に行かないで、まっすぐ出てきて、横断歩道の所に入ってくる。そこはやっぱりきちんとしないといけないと思う。

→水野) 安全とか交通計画とかその辺のことも踏まえて、ご検討いただきたい。

→新滝) バス駐車場の島になっているところまで屋根があるんですね。予算の関係もあるかもしれませんが、駅の駐車場に向かうところにもあるに越したことはない、ないということですね。

→中野) はい。

- ・上口) 今日の説明には無かったが、金沢駅がオープンして混雑したことの要因のひとつはコインロッカーが無いことだと思う。それで慌てて確保した。加賀温泉駅は観光客を主体にした拠点であるべき。たくさん荷物で金沢から来るから、帰りに京都に行こうとするときにはコインロッカーをよく使う。蛇足だが、文化ということも書いてあるが、小松駅の窓から見ると小松公立大学の看板があって、あれだけでも一発やられたような気持ちになる。この場合、駅前に地方の文化を紹介する美術館があることが非常に大事だから、文化の象徴としてもっともっと大事にしないとイケない。

→長谷川) 今の意見に非常に感謝したい。市の方がチケットを作ってくれたため、美術館が無料で入れるようになった。それを美術館側が市に返すといくらかお金が入るようになっている。あれをやっていただいているおかげで、とても人が入る。ところが荷物を担いだまま入る。美術館には荷物を置く場所がない。だから一時預かりとしてカウンターのうしろで椅子の上に置いてある。だから、駅の中にちゃんとした荷物を預かる場所がある。美術館には軽装でまわっていただきたい。

→水野) それは都市施設の部分かと思いますが、それについていかがですか？

→中野) 次の案件について、まず、コインロッカーについては、JRさんの方で今整備する予定で考えている。必要な容量については、観光案内所、観光交流機構等からも意見を聞いたところ、外国人客が最近多いということで、大型のキャリーケースを持ってくる人が多いというようなことなので、JRさんに要望として伝える。市の都市施設の範囲にはコインロッカーを入れていないが、はずれたところでJRさんと協議しながら設置していく。手荷物預かり所については、観光案内所で新幹線駅が開業するときには手荷物預かり所を設けて、預かれるような体制を整えたいということで今考えているところ。まだ決定ではない。

→水野) 金沢駅でも、座るベンチが無い、コインロッカーが無い、トイレが少ないという3本は、フォローとして増強している。7ページに関して交通計画の説明ですが、これでよろしいですか。市の方で内部の専門家も含めて検討していただきたい。

・水野) それでは8ページ以降ですが、9・10ページの施設の大きさだとか概略について伺います。事例含めて。都市施設についてご意見・ご質問等をうかがいたいと思います。14ページが大体の面積・規模になります。この会議室が9m×12mくらいだから約100㎡。なので観光の130㎡とか待合の100㎡とかを検討していくときに大体想像できるのでは。

→鹿野) 8・9ページの考え方としてこういう理解でいいのかとお伺いします。8ページで最初に高架下の都市施設の広さとしては1600㎡くらいあります。

→水野) これはJRのほうが公共施設として使ってくださいと。

→鹿野) ここで1000㎡というのは600㎡から通路とかにロスしていく部分という風に考えればよいか。逆に今度は1000㎡の中から具体的に、14ページにいくが、9ページの説明の通り、観光物産販売とかはそれ以外のスペースで、ということ？既に開業している駅舎で案内所は大体こんな広さでやっていますよというひとつのモデルとして加賀温泉駅はどうしようかという計算をしている。JRさんがこの中にコンビニを入れてくださいとなると700㎡くらいで狭くなる。その都度ロスが出てくるという考え方で、最終的にはこんなもんじゃないかという風に考えればよいか？

→中野) 9ページは2年ほど前の検討委員会でアンケートを取らせていただいた面積。今回の14ページはいろいろな関係団体等に相談しながら必要と思われる面積をあげている。9ページは合計で約1000㎡、14ページでは約700㎡。少し面積としては小さく収まるというような形になっている。その分通路を含めたエントランス空間を広げている。

→鹿野) だから場所として1600㎡くらいはもらえるけれども、必要なものを計算すると700㎡くらいなので、他をいろいろ広くしていきますという考えか？普通に考えたら700㎡ということで小さくなっているから。

→小中出) CABUSの事務所が今は美術館の前にあるが、どこに行くのか？高架下の都市施設の中のレイアウトについてもお話したいと思うが、荷物のことも確かにいる。グランクラスはどこ停まるか知っているか？とある人に聞かれた。駅舎の中で一番遠いところに停まる。そこでスーツケースを3・4つ持った一番お金を払って一番優遇されたい方が、コロコロをずっと引っ張らなくてはならない。そういうのはよくないよね。無理なんだけど、階段をそっちに向けるとか、荷物を運ぶとかそういうサービスもできないと思うが。だから待合とコインロッカーが近い所にあるとか動く歩道とか、そういうことも考えてあげないと。JRからここですよと言われたかもしれないが、利用者目線のレイアウトの考え方もしないと。都市施設の運行の視点だけではなくて。

→水野) 今度の駅で一番大きな問題は新幹線から在来線に乗り換えるときに高低差の部分はどうにか。そのためにエレベーターが6台ほど設置されている。大変な設備投資だが、

重い荷物を持って階段等の上って歩かないように対策を講じてはいるが、そのへんの調整をずいぶんJRにお願いしたが、JRもそこまで投資はできないと。要望は新幹線の開通と同時に渡したが、できないという回答が返ってきている。だからエレベーターが増えている。コインロッカーについては、JRが整備すると言っている。19ページとかの奥の部分はコインロッカーというわけではないんですよね？

→中野) 高架下の白抜き部分であります、今のところJRさんは駐車場を考えているが、コインロッカーとか必要な施設があれば、それを調整しながらやっていければということ、また決まれば。

→水野) 例えばこの部分をコインロッカー等に使いたいということがあれば、ということが一応言われていると。それと、トイレは加賀市が整備する必要があるのか？駅の主要施設として当然のものとして、JRが整備すべきなのではという感じ。

→中野) トイレは改札をくぐった中のラッチ内はJR(鉄道運輸機構)が整備します。改札口から出た部分は駅を利用する方が必ずしも電車に乗る方だけではないということ。その辺の部分が非常に難しい所だが、都市側の一つということで、市が整備することになっている。

→上口) 加賀温泉駅は公衆電話が良い場所にある。今の場所で外国の方も使えるものが必要。金沢駅にはなくて外に行かなければならない。緊急の事態でもつかえるし、無くさないようにしてほしい。

→中野) CANBUSの件にお答えします。CANBUSの運営者に位置について事前に相談したところ、高架下の中には事務所を設ける予定はなく、駅前広場の市所有している土地のなかで若干空白部分がありますのでその部分に考えているとのこと。実際には会社の中での話ということになるので、この場で具体的に申し上げることはできない。

- ・新滝) JRを利用する旅行者が非常に多い。バス料金も全体的に例の事故があって以来料金が値上がりしていて、長距離の旅行の場合はJRで入ってきて現地バスで動くことが多い。全体的にみると車で動くお客さんも多いがJR利用が圧倒的に多い。この冬も仮設駅舎だからかなり混雑していたように感じる。仮駅舎で不便だと言うが、インフォメーションに関しては良くなった。前のインフォメーションセンターは駅の待合には直結しているが、改札からだと見えにくいところにあった。しかも、狭い中に入った待合室の前にあったから利用が限られていた。今は、スペースの関係もあるが、通路に面してインフォメーションがあるから、なんでも聞けるお客さんが増えている。広さも大切だとは思いますが、おもてなしの域、どこにインフォメーションセンターを設けるかということとは市として大切な視点ではないか。お客さんにとってなんでも聞ける、旅行者に限らず、ちょっとしたことでも聞けるところにあることが駅の特徴であり、他の駅との差別化にもなるのではないか。商業的に利用したい人はどこだって探しに行く。荷物をもって降りてきた人がすぐ聞ける場所に設けたほうがよい。

CANBUSもそうであるが、駅に来ることだけが目的ではなく、この駅が使いやすい駅になるかならないかのポイントは2次交通との関係だと思う。タクシーや何に乗ればよいのかということインフォメーションセンターで答えれば、そこで人と人との関係があったほうがお客さんにとってはありがたい。スマホでさがすよりもコミュニケーション。CANBUSの事務所がここに本当は併設されている方が2次交通的にはよい。まちづくり加賀も財政的には厳しいが、そういった視点ではなく、お客さんにとって優しい駅、おむかえ、おもてなしが行き届いた駅というのは内装や見栄えもあるが、ソフト面で配慮していただきたい。動線や配置も考えていただけたら。

→水野) 今の意見で、A・B・Cそれぞれを見ると、A案だと1つしか広場に接していない。B・Cだと2つ。そういうことを含めてその辺が設計者選定の条件の一つになる。

→師池) 新滝さんに同意。知る人ぞ知るインフォメーションではよくない。観光案内所の

ところに何があるのか、みんな大体知っているだろう、という田舎の認識を持っていて、外から来た人にアピールすることが下手でわからない、つかめない。それが加賀市にあると思う。CANBUSがどうしても中に入らないのなら、どこにあるのか明確にわからせる、コインロッカーはこっち、お土産処はこの中に入らないよ、あっちだよという明確な看板が必要。外でも、駐車場のもう片方というなら、ここからは入れませんというのではなくて、ここから入れますが駅に直通なので気をつけてください。というようなのがわかりやすい。人に伝わるインフォメーションが一番大事。

- ・竹内) 南北と書いてあるのが気に入らないが、地下通路の階段ですが、ここにスロープがつけられないか。ほとんどの人がキャリーバックを持っていて、階段はやはり上り下りしにくい。スロープにしたほうがよい。京急品川も片方がエスカレーターだと思う。改装して外につなげるというのもある。ベビーカーや車いすを使う人は使いにくい。

→水野) 階段の勾配と同じスロープか？

→竹内) そうです。それか、ものすごく緩いスロープ。

→複数) 緩いのではないと。

→水野) 幅が決まってしまっている。

→竹内) 階段と一緒にくらいでも、持ち上げることがなかったら、大丈夫なのでは？

→水野) それは検討いただきたい。就学旅行生や旅行者のほとんどがキャリーバック。

- ・鹿野) 新滝委員の補足になるかと思うが、観光案内所というのは加賀市にはこんな観光があつての詳細とかそこに誘導とか、説明をするというような発想になるが、レイアウトでどこに移動するかというので、例えばA案だとウナギの寝床のように奥が深いかなというのがあったが、それよりもまずはB C案とか検討していくなかで、この駅ができた時に、どこに人だかりができるかということをもっと先に考えるべき。この駅に来ている人はいろんな方がいて、そのニーズはバラバラ。観光案内所というのはよろず相談という発想で。一番目について、そういう人たちの出入りがしやすいということの考え方がどうなのかと思う。パンフレットを綺麗に並べ、加賀市の事をアピールしてもらいたいが、その前に駅に来たお客さんが、ここに行けばすぐなんでも聞ける場所が必要。人がたくさん来るところで、一番目立つところ。そういう発想を取り入れてもらいたい。それがおもてなしとしての、駅としての、加賀温泉駅はそういう面ですごく親切な駅だと。携わる人達が、いろんな意味での人対人の付き合いに代わる。なにもない不安な人が、ふと来たときに、緊急性の問題もあるかもしれない、ゆっくり考えたいかもしれない。そのいろいろなニーズにずっと。それがわかりやすく、簡単に出入りできる形。たばまちネットというのが観光交流機構でも利用度が高くなっている。場所が無かったとはいえ、人通りの真ん中にあるからなんでもみなさんすぐに聞く。結果的にそれがすごくいいとなった。

→新滝) 特に外国人の方がとても便利になったと聞いている。一番そういうことに弱い。

→丸谷) 案内所というのは改札に出て一番先に目に入る所にあつたほうがいい。使い勝手がいい。観光案内所というより総合案内所という表示の仕方の方がわかりやすい。そこでいったん聞いてそれから細かいことがその次に来た方がいいかなと思う。

→水野) 世界的に言えばiマーク。みんなそこに行く習慣がある。特に外国の方はその習慣がついている。私が思うのは観光案内所・待合所・伝統工芸展示の3つの部屋があるのではなく、1つの部屋になっていて、待合をしながら伝統工芸品が並んでいるという具合であつていいんじゃないかという気がする。金沢駅もその辺は割とずるずるになっている。あとは、いつクローズするか。その時にどうなるかということをつまコントロールすればよい。その辺も、プロポーザルコンペをしたときにどんな案が出てく



るか、その設計者の視点が見ることができれば選べる。今のことを14ページに付け加えていただければと思います。金沢の場合だと、コンシェルジュといってカウンターの中にいる人はとても訓練させている。これも非常に大事。総合案内も含めてそういう能力を持たせている。外人が来ても、おばあちゃんがきても大丈夫。そういう訓練をしている。人材の教育もとても大事。15、16ページは今の話を加えていただきたい。

- ・水野) 18, 19ページについては、設計者選定の時にどう選ぶかだが、コンビニの位置が難しく、先頭にあってもなくてすぐそば。面積から言えば。金沢なんて一番奥にあるけど人が多い。

20ページについて。新幹線駅舎の内装についていかがでしょうか。これはどういうことかという、上越では市長から林業のスギを使ってくれという要望があって、どこに使うか、壁面と天井に使おうということをJRに申し込んだ。JRはいろんな所で使ってもらった。金沢では鼓門ができて、それに合わせられるか？と。そこでJRが出してきた案が門構えのコンコースが続くようになった。同じ色調で鼓門、外のゲート、中のコンコース、ずっと同じできました。その間に工芸品を飾るスペースを用意してくれて、工芸品は展示で出す特例がでた。お金は市が出した。外観について説得しましたけど、インテリアについてもなにかお願いするのかどうかということ。JRとしては各駅、小松あわら福井と対等にやろうとしていると思う。特別に加賀温泉駅に、大きく投資するわけにはいかない。という返事がまともに返ってくる。

→竹内) 今、内装に山中塗とか九谷焼の話があったが、どれくらいの大きさが設置可能か。山中塗のパネルをやるならこれくらい、九谷焼のパネルならこれくらいとかそういうようなことを。

→水野) そういうものを駅舎の中でやるというのと、もうひとつは加賀市がやる都市施設でやるというのと、そしてもうひとつは駅前広場の切妻屋根の待合空間で展開すると何点かはあると思う。九谷とか山中漆器というのをもし展開することをやるなら、その3点が選ばれると思う。

- ・師池) 切妻屋根の天井は何でつくるのか？

→水野) それはこれからです。

→師池) これからですか。なんか前のドームとかだと漆器とかそういうことを設計されていたので、やっぱり漆器とか日に弱いということも考えて・・・

→水野) 漆器はやっぱり外気空間は非常に厳しい。

→師池) 扱いやすくしたものを使うとか？

→水野) 金沢の場合は、見せるときは本物でと。作品のレベルというのも含めて。金沢の場合は作家でいこうと決めた。普通の九谷等が出てきたりすると、ちょっと危ないんじゃないかという気がしないでもない。

- ・古場田) 今年の最終目標というのは業者の選定、設計者の選定までいかないといけない。皆さんいいアイデア等がたくさん出てきたが、そういったものをすべてまとめて、仕様書をつくってコンペをしていくということになるのかな？と思っているがどうか。どこがどういうアイデアを出してくるのか今はわからないがどういった形でのコンペにするのかというのわからないが、この場合発注の仕方はどの範囲なのかも大事だと思う。交流広場、駅前広場、それから内装も含めて、それからアーケード等もいっぱいできる。こういったものも含めてとか。内装外装の区別がほとんどないと思う。一体感、統一感が

あるかというのはとても大事。金沢駅の場合そういった連動ができたかと思うが、今はイメージが全くないから、どの範囲をもって設計を発注するのか決め手を言った方がいいのかなと思う。駅の中も外も含めて全体の設計をやってくれる業者さんが望ましいかなと思っている。

→中野) 説明の中で、わかりにくかった点があるかと思います。どの範囲かということだが、ここが切妻屋根の環境空間ですけど、ここから始まって高架下の施設、観光案内所、エントランス空間も含めたすべての都市施設、地下通路、在来線への通路までの範囲。正面から環境空間、駅舎の高架下の中全ての空間、地下通路を含めた一体の範囲を考えている。

→鹿野) その中で、加賀市がコントロールできない駅舎空間についても要望だけは出そうというのが。新幹線駅舎の内装についても、全体のコントロールに対して、発言できるかどうか。駅舎の外観までの一体感？

→水野) 駅舎が格子とか赤瓦とかを出してきたから、コンコースの駅前広場も改札を降りたところも、なんとなく旅館の中に入ったような雰囲気やっってくださいという要望を出すか出さないかとか。ここに加賀市らしさをどうやってほしいかとかそういう問いかけになると思う。それが、普通の駅でいいですよとなればそれでもいいと思う。

→鹿野) 上越駅の話だけでも、これは行政で産地の木材を使った駅にしてくださいという提案をして、JRに採用されている。それ的な方の設計もコンペで進めていくにあたって、加賀市の場合は確かに山中漆器だったり、九谷焼等の伝統工芸品としてはあるが、駅舎に使うよりかは、展示とか部分的な使い方になるのではないか。装飾、デザインで考えた方が。私がイメージしていたのは外観でというよりこっちなかなと。外観で使うというのがよく分からない。

→水野) 建築部材として工芸品を使うのは非常に難しい。しかもそれがいつもいい状態で保たれるということができない。焼物だけは可能。大きな漆塗りのパネルで言うと、輪島の文化会館がラウンジに使用している。かなり大きなパネル。でもなんとなく、劣化しているなという雰囲気。例があるから見せることはできる。

→上口) 山中座は全部漆にした。あんな恰好よくできるか。

→水野) あれはほとんどインテリアですから。駅舎というのは明るく外の光が入ってくる環境だから難しい。

→上口) 機能性が大事。

・古場田) コンペの話だが、公開コンペにするのか指名コンペにするのか？

→中野) その辺の具体的な内容はまだ決まっていない。今その辺の整備等を行っている。まとめ次第、次回の検討委員会が開催される時期に報告する。

→古場田) 工芸品に関する懸念とかもあるが、そういったことに強い事務所もあるから、加賀市ですでに実績がある、伝統工芸について理解されている事務所もある。そういった所も念頭に置いてほしい。全く知らない人が入ってくると一から説明しなくてはならないのか。加賀市で実績がある事務所もあると思う。

・上口) 話は逸れるが、アビオシティと景観の連絡はとっているか？

→中野) アビオさんの外装、外壁ですが、今は相当劣化している。改修しなければいけない時期にきていることは平和堂さんから聞いている。改修の仕方については駅前整備に景観的なものとして合わせていきたいと聞いている。計画とのこともあるが打合せ

は是非させていただきます。

→上口) 中身の物産の紹介のこともあるし、出たときに左側の視線を制するくらい大事な壁面だから連携を大事にしてもらいたい。そうしないと全体の効果がばらけても困る。念のための確認でした。

・水野) だいぶ時間も迫ってまいりましたが、20 ページの駅舎の内装については特にこうあるべきだという意見の内容ですので、多分プロポーザルコンペに出すときに、コンコース、ホームを含めて、加賀市らしさというのはなにか提案していただきたいという項目は出してもよいかと思う。それによって選んでもいいし。

→中野) 新幹線の駅の駅舎の中の内装ですが、今年度鉄道運輸機構の設計が始まっている。内装も材料の関係等、発注の関係等もあり、大変申し上げにくいですが6月中旬までには市としての考え、どういった形で内装を。先生がさっき言ったように加賀市らしさというような内装。委員会の中でも考えを聞かせてもらえたら、鉄道運輸機構にその旨を加賀市の要望として伝えたい。なにかありますか？

→小中出) 色にこだわるが、前はベンガラとか赤瓦とかの話。サッシの色を特殊な赤っぽいサッシにはできるのか？それから銅板だったら結構できると聞いているが、九谷焼に耐久性があるかはわからないが、全面に銅板で九谷焼風のものを貼るのは難しいけど、部分的にはできるのか？歩く場所にだけとか。

→水野) できると思います。

→小中出) サッシ等、当たり前の色だと無機質になる。加賀らしい色とか旅館にあるような色、アルミだけど色がついているようなものができればほしい。

→水野) 総湯の周りとか、歩くところに九谷を使いました。そういう意味でいうと可能性はある。それをこの委員会としてJRに要求するかどうかということだけを今日決めたらいと思う。コンペまで待てないという返事だったので。その場合の九谷ときに作品として出すならば、こちらで持たないといけないけれど、壁材とか床材に少し入れるくらいなら、向うの費用でできるのではないかと思う。例えば金沢で言うなら、ある柱を和紙でやったり友禅でやったりしたが、そういう場合は完全に作品。ですからこちらが持たないといけない。

→新滝) 話が戻るかもしれないが、作品、意匠、インテリアの部分は別に内装が、新幹線の駅というのはいろいろあるが、どちらかというが近代的な統一的な、ビルディングのような感じの内容が多い。特に東海道新幹線は多い。外観のコンセプトの温泉風情と城下町の歴史を感じさせる。JRがすべてやってくれるわけではないのかもしれないが、そういうものをとり入れた内装の基本的なデザインがあればあとでいろいろできる余地があるのかもしれない。全く普通に造ってしまうと普通のビルになる。全体の統一感を外装だけではなく、中に入ると普通のビルのような感じだとどうかと思う。そこくらいは言ってもいいのかなと思う。

→水野) それをどういう言葉で言うかだと思う。例えば和のデザインでインテリアをやってくれ、和のきめ細やかなデザインでいってくださいという要求はひとつあると思う。インテリアから見ても、格子があったり板壁があったり、塗壁があったりしている。金属だけではない、石だけではない、アルミサッシだけではないというものをつくってくださいという要望は言える。そうすると今度は都市施設でも我々が主体的にやるわけだから、そこに和のデザインを入れないと辻褄が合わない。そういう統一性をとる。和のデザインの中に加賀市らしさ、寺院群とか温泉旅館とか東谷とか橋立も含めたそういう加賀市が持っている建築文化みたいなものはいってくる。あと伝統工芸とか入ってくる。そういうものを取り入れた、全部完璧にはできないだろうが、そういうものが欲しいですねと要求は出せると思う。

→古場田) 和の雰囲気というのはいろいろあるが、和だけでは伝わりにくいと思う。

→水野) それ以上狭めると…

→古場田) 和は和だが、人間が加工した、手業が感じられるようなとかその辺まで行かないと。大部分のパーツは工業製品に頼らざるを得ないと思うが、その辺の手業が感じられるようなパーツを採用して頂ければ多少ビルディングとは違うようなものになるのかなと。ほんの僅かな部分だと思うが。

→水野) 手業が感じられるような部材くらいだったら、まだ許容性はあると思う。難しいけれど、JRはコストが倍になると言ってくるだろう。

→古場田) 限りなくフェイクなものが入ってくる感じがする。

→水野) 逆に言うと、あまりにも木造みたいなのが入ってくるとなんか合わないな、居酒屋みたいだなという感じになってしまう。金沢は居酒屋になるのは拒否した。形態的伝統、格子とか唐笠とかは絶対にやめてくれと。金沢は先端の技術、デザインでいくと要求した。その先端でいくことが金沢らしいという文脈で。もてなしドームも鼓門も駅西広場もつくってきたからコンコースもそうしてくれというかたち。上越は単にスギを使ってくれと言っただけ。

→上口) 本物の大黒柱とかは田舎の意味合いもあって。

→水野) これは価値観がいろいろ出てくるから、具体的にデザインが出てこないか良いか悪いか言えない。今のところはおおざっぱな規定しかできないかなという気がする。

→中野) なかなか具体的なデザインが出てこないと進まないの、その辺は今後鉄道運輸機構には和のデザイン、加賀市らしさといったところを考え方として伝えて、具体的な内容はまた随時報告なり協議していこうと思います。

→水野) 手業の感じられるデザインくらいだったらいいと思います。

→中野) それも伝えます。

→水野) 多分そうするとある種のきめの細かさまで要求してきている感じが伝わるかと思  
います。非常に曖昧だが、デザインなのでびしっと決めるわけにはいかない。

→中野) 最後にこちらからいろいろと付け足そうと思います。

- ・水野) いよいよ具体的になってきたということで、判断が専門的になって難しくなってくる。一応プロポーザルコンペという形で、アイデア、デザインを求めていくとうことで委員会の次のステップということにしたいと思います。次のステップとしてこの委員会はどうなんでしょう。

→中野) 設計者の選定については今後市の中で方針を決定して、検討委員会にも具体的な内容、要項等を後説明させていただく。開催時期については、具体的には決まっていないが、7～9月で。具体的な内容が出てきたら、相談させていただきます。

- ・水野) それでは時間はオーバーしましたが委員会を終わらせて頂きます。ありがとうございました。